

	分野	意見概要
1	林業の振興と維持	・現在の植林地の維持は伐採もせず、維持管理もできず放置されているのが現状で、このままでは、数年後には全ての山について、持主不明の荒地になってしまう。現在の山林及び山地を植林以外の利用方法について研究・開発して、村が中心になり管理しないかなければならないと思う。
2	健康づくりの推進	・高齢者体操教室・大字出張型フレイル予防体操・おでかけ健康法など、個々に取り組んできているが、内容が重なる部分もあり、一つの村として大きな取組みとしてまとめて欲しい。
3	公共施設	・公共施設のバリアフリー化、洋式トイレの増設をして欲しい。また施設の入館時に靴をはいたままやスリッパに履き替えるなど公共施設によって違うため、幅広い世代が利用できる優しい環境整備が必要である。
4	計画の重点化	・基本計画の5つの分野は、どこかが欠落すると人口減につながり活気のない村となるため、目標を羅列するだけでなく、村はこの事業で、街おこし、村おこしをして生き残っていくという重点を明らかにして全力投入できる計画を立案するべきである。
5	景観と農地の保全	・古都保存によって守られている景観と農地を保全するため、「住民、大字、NPO、企業、大学」が連携し、行政がサポートすることが大切であり、これらの取り組みを村の活性化の起爆剤にして欲しい。
6	林業の振興と維持	・多額の税金(予算)をつぎ込んで大規模に伐採植樹等はない方が良い。森づくりは持続性こそ大事であり、単年度事業で終わるものや、民間ができない取組みは税金の無駄遣いとなる。少しずつの変化、潜在植生力の活用(極力植樹しない)、伐採木を全て販売し事業収入とするなど、森にも人にも負荷の少ない、100年以上続けられる取組みに育ててほしい。
7	林業の振興と維持	・「②里山・樹種転換活動」を持続的に行うためには、「林道」「林業専用道」のプランニングと整備を村で行い、「森林作業道」のプランニングと整備を民間で行えば良いと思う。戦後74年、現状ではお荷物とされているスギ・ヒノキも大切な資産であり、共有の財産。伐り出しや管理には最低限のインフラが必要である。
8	マネジメントシステム	・計画とはPDCAサイクルにより、スパイラルアップされるべきものであるが、次期総合計画は現総合計画(P)が立てられ、その後の実施状況(D)を評価(C)し、どのような措置(A)が必要になったのか。その現計画のPDCAサイクルの結果より、次期計画が生み出されたことを検証する必要がある。
9	指標	・KPIを設定するのはひとつの進歩であるが、そこに現状値を入れて、基準値、目標値の妥当性もわかるようにするべきである。KPIと基本計画のマトリクス的関連を、たてよこに示すと二つの関係がよくわかると思う。
10	子育て	・他の自治体では、習い事(英語やスイミングetc.)が、その自治体住民であれば月々数百円(他市町村から来られる場合は普通の金額)で習い事で利用できる施設があるようである。習い事となる事業をはお金がかかるけれど、やらせてあげたいママも多いと思う。
11	子育て	・お年寄りの方から、子育て世代まで利用できるカフェで、一人住まいのお年寄りが、1日1食そこで健康食を食べに来られ、近所以外の方とも話ができて、老人も子育てしている親子が同じ場所で食事ができ様々な世代が交流できる場所づくりが欲しい。
12	子育て	・妊娠中や、子どもが入園前から集える環境づくりに力を入れてほしい。
13	子育て	・子どもの福祉を充実してほしい。
14	防災	・他の市町村でボランティアさんたちが、楽しく学べる防災イベントを、やっているのを見たことがある。お年寄りや若い方も防災意識を高めるため、機会を増やしてほしい。
15	土地利用	・公共施設集約ゾーンについて、公共施設周辺が、消防・防災施設や民間施設の誘致を図ることにより、行政の中心としてふさわしい地域となるよう計画されたい。
16	安全安心	通園通学路の環境整備に力を入れ事故ゼロ、事件ゼロを目指してほしい。
17	その他	雑草が多く景観を阻害しているため村全体整備すべきである。観光客が来ても、雑草が多すぎて残念である。
18	その他	・飛鳥川にかかる橋、岡の橋から飛鳥橋までの間に橋がない。飛鳥京苑池あたりに橋を希望したい。